

■ グループ別ポスター

2019年度宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター／日光市国際交流協会主催

国際交流都市日光の再発見 『観光モデルを留学生と考える』プロジェクト

1. 事業の背景と目的

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター（CPMS）は、2015年度から毎年、日光市国際交流協会と大学・地域連携プロジェクトを実施してきた。その実績をふまえ、2019年度は、本プロジェクトを実施し、「国際交流都市日光の魅力」を①観光開発、②国際交流、③地域づくり、の3つの視点から再発見し、留学生と海外経験のある日本人学生の気づきによる「観光モデル」のためのフィールドワーク、シンポジウムを通じて提言を行い、日光に対して国際貢献・地域貢献していくことを目的とする。

2. 事業の実施内容

（1）企画

日光市には、年間1200万人以上の観光客が訪れている。また、外国人宿泊客数も9万人を超えている。さらに多くの外国人観光客を受け入れ、満足していただくためには、プロモーションだけでなく、受入環境の整備・充実が課題となっている。今回の事業では、宇都宮大学の留学生・日本人留学生、日光市国際交流協会会員、宇都宮大学国際学部教員がテーマグループごとに日光の観光資源を訪問し、留学生・留学経験者の視点でのフィールドワークを行い、施設の方や地域のキーパーソン、旅行者などへのヒアリングを実施することで、食事や交通、情報など受入環境の課題について考え、「観光モデル」（＝あるべき姿、望まれる姿、留学生から見た魅力など）について提言・提案を行う。

（2）活動内容

- 「オリエンテーション」 11月4日（月・祝） 10～12時（場所：日光郷土センター）
日光市と学生間で国際交流都市日光市の魅力と課題を検討し、新しい地域資源・観光資源の可能性などについて共同でオリエンテーションを行う。
- 「フィールドワーク 1回目」 11月4日（月・祝） 13～18時（場所：日光市街）
日光市内見学を通し、国際観光都市としての日光を学習し体感する。
見学先：日光駅周辺、金谷ホテル、田母沢御用邸等
- 「フィールドワーク 2回目」 11月10日（日） 8～18時（場所：奥日光）
午前 奥日光エリア、中禅寺湖、イタリア大使館、イギリス大使館、自然博物館、ほか
午後 5つのグループに分かれて観光客、商店街、関連施設（戦場ヶ原、華厳の滝、湯元温泉、自然博物館等）でインタビューし、地域資源・観光資源の更なる活用を模索する。
Aグループ：宿泊 Bグループ：交通・案内 Cグループ：情報 Dグループ：買い物・食事 Eグループ：観光資源
- 「シンポジウム」 12月7日（土） 10時～12時 15分（場所：宇都宮大学UUプラザ）
テーマ：「国際交流都市日光の再発見—『観光モデルを留学生と考える』」

3. ポスター展示内容

5つのグループがシンポジウムで発表した提言・提案を展示する。5年間続けてきた本事業での初の試みとなっている。





日光の再発見

-宿泊についての観光モデル-

Group A

指導教員：倪永茂 メンバー：藤原成悟 ター Nicolle チーア 許家也 王思雨

宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

1. 日光探索

・11/4 (月・祝) ・ゲストハウス集み家

- ・東武日光駅に近い
- ・最大10人泊まれる
- ・1泊約3000円と安い



・日光金谷ホテル

- ・現存する日本最古の西洋式ホテル
- ・平成17年11月に国の有形文化財として登録
- ・一泊約3万

・11/10 (日)

- ・奥日光小西ホテル
 - ・温泉が源泉掛流しのミルキーホワイトの硫黄泉
 - ・投扇興大会や自然体験などのアクティビティが
 - ・1泊約1万円



・奥日光ゲストハウスJUN

- ・奥日光で初めてのゲストハウス
- ・最大15人泊まれる
- ・一泊約1万円



2. フィールドワーク

アンケート結果

観光客

Pro

- ・紅葉
- ・空気が良い
- ・リラックスできる
- ・綺麗な写真が撮れる・景色が素晴らしい
- ・混んでいない
- ・食べ物おいしい



Con

- ・宿泊先までの交通手段に限られている
 - ・タクシーやバスを用いる場合、小銭が必要となり、ユーザーフレンドリーでない
 - ・クレジットカードが使えない
 - ・ゴミ箱が少ない

ホテル関係者

- ・交通手段 > 車が無ければ、奥日光まで行けず、楽しめない
- ・温泉が無い(日光金谷ホテル)
- ・シーズンによる観光客の増減が激しい
- ・レストランの閉店が早い
- ・設備(ヒーター・トイレ)の使い方(ゲストハウス)
- ・宗教(食べ物など)
- ・言語(会話・Website)



3. 観光モデルの提案

・私たちが考える宿泊に関する問題点

- ・外国人向けの対応
- ・交通整備(奥日光まで行けるように)
- ・紅葉場所の案内
- ・冬のイベントを行う
- ・バリアフリー
- ・冬のウェア貸し出し(東南アジアからの観光客向け)
- ・行政からの金銭的援助が少ない
- ・給料が低い
- ・Airbnbを取り入れる

私たちが考える宿泊に関する観光モデル

- ・多言語対応案内
- ・コインランドリーを作る
- ・ハイキングルートの整備
- ・アプリの連携
- ・ゲストハウスでは女性専用の部屋を作る
- ・音楽イベントを行う



4. アプリ連携・女性専用の部屋・冬の音楽イベントについて



アプリの連携

・観光客に使われるGoogle Mapsとの連携



冬の音楽イベントを行う

- ・意外性のある冬の音楽イベント行う > デートに最適・集客が見込まれる！！



ゲストハウスでは女性専用の部屋

- ・女性専用の部屋は、安全・安心を売りにでき、人気が高い！



アンケート調査に基づく 奥日光の交通、案内をより良いするための発想 Bグループ

多言語対応

- ・現在英語の対応が普及しているが、奥日光ではまだまだ少ないところがあるので、きちんと直す必要がある。
(写真のように日本語の読み方をそのままアルファベットで翻訳しているところがある)
- ・観光客数が多い国の中で、英語圏ではない国の言語への対応
(中国、台湾、タイなど)



シェアリングシステム

- ・シェアサイクルの数が少ないため、外国人観光客の利用者の人数が少ない。特に外国人観光客は利用しにくい。
- ・シェアサイクルは公道で車と一緒に走行するため、危険性がある。自転車専用レーンの設置が望ましい。
- ・現在欧米で流行っているシェアバイクの導入も検討する。



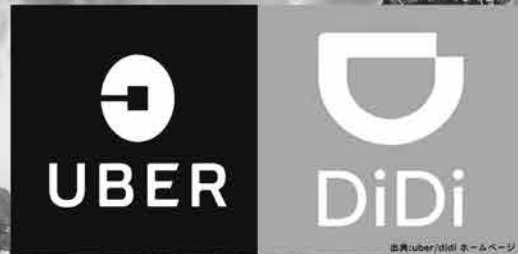
グループメンバー：

- 奥 詩音
- チャン ソーダレン
- マンマオート パリンヤ
- ダン チュンワ
- 助川 奈々子
- ZHU SHENYUE



配車アプリ

日本各地に導入されているの配車アプリが日光地域での導入。住民と観光客の懸け橋ができる。



出典:uber/didi ホームページ



今後の課題

- ・電動キックボードは全て“原動機付自転車”の扱い。
- ・uber/didiは日本の法律により、第二種運転免許が必要。
- ・国家戦略特区の指定が望ましい。
- ・国家戦略特区とは、日本の経済活性化のために、地域限定で規制や制度を改革し、その効果を検証するための指定を受ける特別な区域のこと。

「観光モデルを留学生と考える」プロジェクト

Cグループ:情報

教員:スエヨシアナ先生

石 穎・グロズドヴァ アナスタシヤ・トマセリ ヴァレリア

・沈 忻・浅野 琳香・Batsukh Unubileg

テーマ:情報

・11月4日

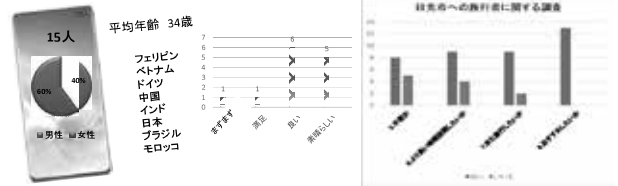
インフォメーションセンター、JR日光駅
東武日光駅、日光郷土センター

・11月10日

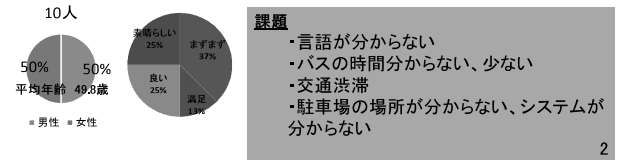
奥日光エリア、中禅寺湖、イタリア大使館、
イギリス大使館、自然博物館、奥日光ビジターセンター、
華厳の滝

1

アンケート分析
日光市への旅行者に関する調査



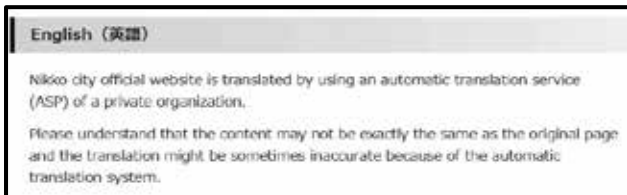
アンケート分析
働く人たちにに関する調査



2

提案1 日光のホームページ

- 日本語版HPは問題なく、分かりやすく表記されている。
- 外国人観光客向けHPは、自動翻訳であるため不自然。



3

問題点

- テキストだけ翻訳される -> 写真の中のテキストは翻訳されない
- 翻訳されたテキストに、文法や意味の間違いがある

例

- 「Information of Sightseeing」のページは全て日本語表記

-> 日光について情報を得たい観光客にとって現在のHPは不便である

提案1・まとめ

- 翻訳家に依頼
- 写真の中のテキストが翻訳されない問題を改善

4

提案2 看板について

・どんなお店が分からない
? 店を説明する看板の設置

・中国語や韓国語の表記が多い
? 英語表記の看板の増加

・ゴミの捨て場所が分からない
? ゴミ箱のある場所を表記

または、「ゴミは各自で持ち帰る」という文化があることを伝える



5

- ・中国人観光客の多くは、紅葉シーズンのみの訪問
? 紅葉シーズン以外の季節の魅力の発信
- ・日光の魅力(特に日光東照宮)を伝える
? 有名人やInstagramerを起用し、魅力発信
- ・雨天時にどこに行けばよいか分からない
? 雨天時に楽しめる観光スポットなどの情報発信

6

提案4 観光とスマートフォンアプリ 「日光街歩きナビ」の改善

- ・駐車場の場所の情報
- ・バスの時刻表
- ・言語の多様化
? ポルトガル語、スペイン語など
- ・ハイキングルートを紹介



7

まとめ

- 提案1 日光のホームページ
- 提案2 看板について
- 提案3 SNSでの情報発信
- 提案4 「日光街歩きナビ」の改善



8

Dグループ

日光の再発見 食事・買い物について

一日目

- ・日光郷土センター
- ・神橋
- ・東武日光駅
- ・ミツ山羊羹本舗

二日目

- ・英国大使館別荘記念公園
- ・三本松茶屋・戦場ヶ原
- ・華厳の滝 300円
- ・中禅寺湖畔
- ・欧州浪漫館シエ・ホシノ

1

日光市への旅行者に関する調査一良いところ

食べ物について

1. 美味しい、美味しい
2. 商業のために来た
3. ラーメンが美味しい

風景について

1. 神橋の風景がいい
2. 東照宮の景色が最高
3. 紅葉がきれい
4. 平野・静かな感じが良い

他について

1. 一年中いつでも旅行できる
2. 建物の歴史感がある
3. 温泉が良い

2

日光市への旅行者に関する一問題点

交通について

- ・渋滞
- ・タクシーが少ない
- ・駐車場が遠い

食事について

- ・ベジタリアンや宗教にあった食事処がない

その他

- ・充電する場所がない

支払い方法について

- ・Alipay/wechat payできない
- ・クレジットカードを使えない

3

働く人達に関する調査一問題点

- ・言語が通じない
- ・自己意識が不足（自分から日光市を誘う）
- ・キャッシュレスの手数料が高い

4

気づいた点

アンケート分析によると、多くの働く人達が言語の壁に悩まされている。それに対し、多くの観光客は、言語が通じないことを不便だと思っていない。

旅行中の言語は本当に問題点であろうか。

5

問題点：充電ができない！！

↓

提案：モバイルパワーのレンタルシステムをつくる！！

店舗と店舗のつながりも構築！

借りる → 返す

モバイルパワー（充電器）のレンタルシステムをつくり、観光客がある店からモバイルパワーを借りて、他の店に返すことができるようにする。尚、借りるときはパスポート提示など基本的な手続きを取り、返し忘れがないようにする。

6

問題点：現金のみのお店が多く、購買意欲の低下がみられる

↓

観光エリアオリジナルの支払いカードを作成！！

観光エリア内で提携された店舗や交通機関で使用できるカードを作成する（バスカードのようなイメージ）。

例えば1100円分のカードを1000円で購入できるようにし、購買意欲を高める。観光後に残金は現金で返す。

カードの柄は、日光の風景など記念品になるようなものにする。

7

ベジタリアンや宗教に合わせた食事処を！！

ベジタリアンや宗教、アレルギーなどで食事が難しい観光客のために、専門家などを招き、専用のメニューの開発など。

8

国際交流都市日光の再発見

観光モデルを留学生と考えるプロジェクト

Eグループ（観光資源）

オウショウバイ

リムキン

ニアン チャンネット

ネンピススイン

ナッフタイ

ラム チラク バンジー

金田日菜子



目的：

観光資源を焦点として日光の魅力を再発見し、留学生と海外経験のある日本人学生がフィールドワークでの気付きによる提言を行い、日光に対して国際貢献・地域貢献していくこと。

場所

日光郷土センター

新橋 ※外観

日光真光教会

金谷ホテル歴史館

田母沢御用邸記念公園

中禅寺湖

英国大使館別荘記念公園

イタリア大使館別荘記念公園

戦場ヶ原

日光自然博物館

華厳の滝

湖畔・桜橋

二荒山神社中宮祠 ※外観

課題

1. 道が混んでいる。
2. 全ての看板に日本語ばかり書いてある。
3. 戦場原はビデオ紹介がない。
4. バスがあまりなく、歩くのに時間がかかる。
5. 有名谷湯葉のお店までのアクセスが悪い。
6. 閉店時間が早すぎる。
7. 従業員は英語が通じないのでコミュニケーションがとれない。

課題発生原因（Eグループの考え）

1. オーナーが自分の好きな時間帯だけ営業する（日光で制度を設定していないため）。
2. 中禅寺湖あたりのトイレは観光客が多いのに、清掃員のシフトが少なく、トイレが汚い。
3. 看板に日本語だけ書いてあり、英語などの外国語を書いてない。
4. 道が少し狭く、車は片側通行であるため、渋滞が起こる。
5. バスの本数が少なく、多くの人が自分の車で旅行するため、渋滞の問題が発生する。
6. グーグルマップにバス停を表示していない。

アンケートに協力してくれた人の国籍、年齢、性別

性別



年齢別

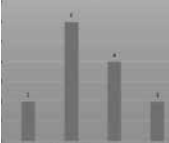


国籍

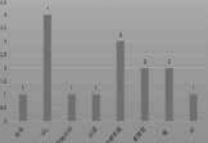


旅行への評価

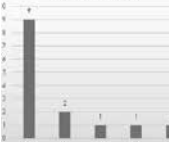
旅行全体の評価



旅行での一番の思い出



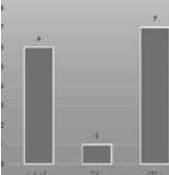
どれくらい滞在したか



より良い滞在したいか



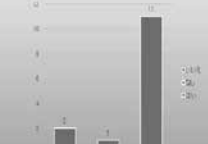
不便だと思うか



また来たいか



オススメしたいか



提案

観光客

1. 日本語が理解出来ない外国人がいるので、看板に英語も書いてほしい。
2. 女性用のトイレの数を増やしたり、もっと綺麗にしてほしい。
3. 飲食店営業時間を延ばしてほしい。
4. 船の値段をもっと安くしてほしい。

従業員

1. 日本語以外の言語を話せる従業員が必要である。
2. 案内表示、歴史的建造物の説明の多言語化が必要である。
3. 他に観光スポットを紹介してほしい。
4. 電子マネー（クレジットカード、LINE PAY、PAYPAY、WECHAT）を導入する。
5. 体験型のプログラムを作る。子供でも楽しめるような日本文化を体験できる場所を増やす。

留学生

1. 滝のエレベーターの値段を安くしてほしい。
2. バイクの音をすこく出した人に注意してほしい。

今後に向けて

以上の問題を解決することにより、次の効果が期待できる。

より多くの観光客を引き付け、日光市の経済収益が増加する。観光業による収益で観光施設が改善され、観光客の旅行体験を向上させることができる。

⇒観光客が増えて、日光での経済収益も増加していく。